



前進

第1号

4月20日発行

文責：濱田

育てたい力：共感力・探究力・協働力

創立151年目という歴史と伝統ある佐敷小学校の校長職3年目を拝命することとなりました濱田良彦です。三岳精神を教育理念とする佐敷小の学校経営を担うことのやりがいとともに、「子どもの命を預かり、守り、育てる」役目をもつ学校の校長としての責任の重さも毎日ひしひしと感じています。しっかり地に足をつけ、どっしり腰を据え、じっくり冷静に頭で考えながら、佐敷小の子どもたちがたくましく成長していけるよう自覚と覚悟をもって今年度も経営に当たる所存です。

令和2年7月豪雨からの復興も施設面はほぼ完了し、昨年度は全校児童が同じ校舎で学校生活を送ることができました。被災からの復旧・復興を進めるうえで、保護者の皆様には様々な面で大変お世話になりました。また、創立150周年記念式典では、佐敷小学校の歴史を振り返るとともに、これからの将来を見据え、スクールプライドを醸成する良い機会となりました。今年度も保護者・地域の皆様と密な連携を図りながら教育活動を展開しようと思います。

特に、今年度の佐敷小学校の重要なミッション(使命)を次のように考えています。

(1) コミュニティ・スクール(学校運営協議会)・地域学校協働活動の推進

コミュニティ・スクールは、学校の教育諸課題の解決を図ることを目的とし、学校経営に地域住民の参加を促し、地域の特色を生かす教育を推進するために学校運営協議会を設置するものです。昨年度からスタートし、佐敷中校区で1つの学校運営協議会を設置しています。今年度は5回の会議を予定しており、委員の方々のご意見を学校経営に取り入れ、評価も行っていただくこととしています。

また、地域学校協働活動は、地域の方々や各団体・機関など、幅広い地域住民に学校の教育活動に参画いただき、地域全体で子供たちの育ちを支えていく諸活動のことです。佐敷中校区推進員の塔尾さんにコーディネートしていただきながら、多くの方のご支援・ご協力を賜り、教育活動を充実させていきます。

(2) 町指定英語教育研究指定校等の推進

令和6年1月26日(金)に外国語科・外国語活動の研究発表会を予定しています。外国語科は5・6年、外国語活動は3・4年で授業を行います。全校としては表現力を高め、自分の考え・思いを表現できる児童を育てる研究を進めていきたいと考えています。学力を向上させるための家庭学習の質・時間の確保など、本校の課題の解決に向けて、ご家庭に協力いただくこともあるかと思っております。その際はよろしく願いいたします。

(3) 被災からの復興の進化(安全・安心して学べる学校)



教育環境の復興とは、施設面の改修に加え、安心して学校生活を送れる心の醸成、学校における学びの充実も意味しています。子どもたち一人一人の心の安定に向け、職員総体となって、すべての子どもたちに関わっていきたいと思います。なお、被災等に伴い、依然としてお子様が心の不安などのお悩みをお持ちのご家庭もあるかと思えます。そのような場合、担任をとおしていつでもご相談ください。

(4) 学校の新しい生活様式の推進

新型コロナウイルス感染症については、学校の新しい生活様式に基づきながら対応していくこととしています。教育活動全般については、以前と全く同じように行うのではなく、見直すべきところは見直し、多くの労力を要せずとも教育効果が上がるように工夫していきたいと考えています。

以上4つの重要なミッションについて説明しましたが、今後も『地域に立つ』佐敷小学校をみんなで創り、一步ずつ前へ進めていきたいと考えています。今年度の学校通信のタイトルは昨年度に引き続き「前進」としています。学校の状況や校長の思い等を随時発信していきたいと思います。どうかご一読いただければ幸いです。

職員紹介 令和5年度の「チーム佐小」(本校職員)です。合い言葉は ONE TEAM



最前列左から

山口(1年1組担任)
木下(なかよし2組担任)
宇田津(教頭)
濱田(校長)
設楽(1年2組担任)
前田(なかよし3組担任)
山下(6年1組担任)

2列目左から

藪下(3年1組担任)
開田(3年2組担任)
山崎(4年1組担任)
加賀(4年2組担任)
平松(なかよし1組担任)
萱田(2年1組担任)

3列目左から

迫本(授業支援員)
岡本(授業支援員)
福田(5年1組担任)
石田裕(校務員)
吉永(教務・社会専科)
本山(理科専科)

4列目左から

鳥居(算数T・T)
岩田(養護教諭)
才荷(授業支援員)
大瀬(授業支援員)
松本(事務職員)
松永(主任事務長)

※この他、古閑(栄養教諭)、佐敷中と兼務で霧(養護)、石田美(教員業務支援員)もおります。